

演 題

豊かな青年期を見据えて、今、 大切にしなければいけないこと

特別支援教育が2年目に入りました。発達障害への理解や支援のあり方が、
本人・保護者はもとより、地域や時代からも問われています。

講 師



大阪医科大学LDセンター顧問
大阪教育大学名誉教授 竹田 契一 先生

講師の竹田契一先生には、子どもたちのQOLを高め青年期を豊かに過ごすために、幼児教育や学校教育
そして地域社会で何を大切にしなければならないかについて話していただきます。

竹田先生は全国の教育現場や少年院での豊富な臨床経験をお持ちです。また、毎年世界の最先端の実践
現場を視察しておられますので、皆様のご期待に添える内容になるものと自負しております。

子どもたちの中には下記のような個性のある子がいます。このような子どもたちは、学習や生活面で様々な
困難に直面しています。私たち大人、保護者、教育者はいろいろな子がいることを理解する必要があります。

日 時

2009年2月21日(土)

13時45分～16時45分

受付13時30分～

場 所

北見芸術文化ホール 中ホール

参加費 1,000円 (懇話会会員と会員の家族は500円)

申し込み どなたでも参加できます。事前の申し込みの必要はあり
ません。直接会場にお越しください。

お願い 録音・録画はご遠慮願います。

お問い合わせ オホーツクADHD&LD懇話会事務局 市野孝雄

〒099-1585 北見市上ところ28 北見市立上常呂小学校

Fax0157-38-2181 電話0157-38-2234(電話は仕事の都合上17時以降にお願いします)

● 学習障害とは～

知的発達に遅れはないが、聞く、話す、読
む、書く、計算する又は推論する能力のうち特
定のものの習得と使用に著しい困難を示す様
々な状態を示すもの

● 注意欠陥多動性障害とは～

注意力、衝動性、多動性を自分でコントロ
ールできず、集中できない、忘れっぽい、ミスが
多い、考えずに行動する、おしゃべり、落ち着
きがない。年齢や発達に不釣り合いな行動や
衝動性を押さえきれない為トラブルメーカーと
誤解されてしまうことも多い

● 高機能自閉症とは～

知的発達の遅れはないが他人との社会的
関係の形成の困難さ、言葉の発達の遅れ、興
味や関心が狭く特定のものにこだわることを特
徴とする。高機能広汎性発達障害と同義。言
葉の遅れがないアスペルガー障害も含む

著書など LD・学び方が違う子どものためのサバイバルガイド キッズ編 明石書店
LD・ADHD・高機能自閉症の友だちづくり 明石書店
LD児の言語・コミュニケーション障害の理解と指導{第2版} 日本文化科学社
NHK教育番組「みてハッスル きいてハッスル」監修、本・DVD NHK出版 ほか

主催 オホーツクADHD&LD懇話会 北見市私立幼稚園連合会
後援 北見市教育委員会 オホーツク情緒障害教育研究会